

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。  
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

タイトル	ベルギーの JI/CDM 入札 - 受付開始 Belgian JI/CDM tender open for proposals
主催	ベルギー（気候変動部 JI/CDM チーム）
日時	2005 年 5 月 20 日（金）18：00～20：00
主要討論者	ベルギー連邦健康食物連鎖安全環境庁 制度担当者
傍聴者	約 20 名
目的	ベルギーの JI/CDM 入札制度（JI/CDM Tender）の紹介。
発表の概要	<p>&lt; 背景 &gt;</p> <p>京都議定書の下で、EU は - 8%、ベルギーとしては - 7.5% の削減義務が課されている。このため、2008～2012 年の第一約束期間で総計 12.3Mt（年間 2.46Mt）を購入する計画である。その購入のための手段として、JI/CDM 入札制度を立ち上げた。</p> <p>&lt; 制度の概略 &gt;</p> <p>5 月 13 日に入札受付を開始した。</p> <p>この JI/CDM 入札制度の対象となるプロジェクトは、LULUCF 及び原子力関連以外のすべてのものである。特に、エネルギー効率関連と再生可能エネルギー関連に対して優先度が高く、小規模プロジェクトも優先度が高い。優先度の高い対象国は、アフリカ諸国、後発発展途上国（Least Developed Countries）、及びベルギー開発協力パートナー国（「CDM Project brochure」Annex 5 参照）である。</p> <p>この JI/CDM 入札制度の予算は、9.3 百万€であり、プロジェクト 1 本当たり最大 2.3 百万€、最低額の規定は無い。</p> <p>&lt; 第 1 段階 &gt;</p> <p>「関心表明」段階。CER や ERU、AAU を売ることに関心のある国がその関心を当局に寄せる。</p> <p>潜在的な候補者のためのワークショップを 2005 年 6 月に開催予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 提出書類（2005 年 9 月 23 日締切） <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ プロジェクト参加者全員署名のカバーレター</li> <li>➢ 除外基準達成証明書</li> <li>➢ プロジェクトアイデアノート（PIN）</li> <li>➢ 最新事業記録（抽出）文書</li> <li>➢ 財政情報（過去 3 年間の年次報告や貸借対照表など）</li> </ul> </li> <li>● 審査基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 除外基準の達成</li> <li>➢ 事業記録</li> </ul> <p>以上 2 点が「足切基準」。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 財政状況</li> <li>➢ 技術的能力</li> </ul> </li> </ul> <p>この第 1 段階で、ベルギー当局は候補者を最大 25 にまで絞る。1 候補者当</p>

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。  
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

たりの最低供与額は 2 万€。

< 第 2 段階 >

「提案書 (Proposal)」段階。第 1 段階で選抜された候補者が、提案書を提出する。

第 1 段階で選抜された候補者向けのワークショップを開催予定である。

● スケジュール

- 2005 年 11 月 4 日：提案書提出の案内
- 2006 年 2 月 28 日：提案書提出締切
- 2006 年 5 月末：排出削減量購入同意書 (ERPA) 交渉の案内

● 提出書類

- 資金要求を含むカバーレター
- プロジェクト提案所 (PDD) 及び有効化審査報告書
- 社会的責任に関するレター
- 実施スケジュール
- ビジネスプラン
- (必要な場合) 環境影響評価
- プロジェクトの環境的・社会経済的な影響に関する記述
- ホスト国による承認書

● 提案書審査

1. 分野ごとに分類

エネルギー効率プロジェクト、再生可能エネルギープロジェクト (バイオマスプロジェクトを除く)、クリーンで持続的に成長するバイオマスによるエネルギー生産プロジェクト (廃棄物によるものを除く)、小規模プロジェクト、アフリカ・LDC・パートナー国におけるプロジェクト、その他

2. 点数付け

- 実施の確実性：50 点 (プロジェクト実施主体やプロジェクトそのもの、カントリーリスクも考慮する)
- 持続可能性：50 点 (環境的側面、及び社会経済的側面から判断)

3. ランキング

(排出削減量 1 単位当たりの価格) ÷ {(2.の点数) - 40} の値で、各分野ごとにランク付け

4. 1~3 の手順を通してそれぞれのプロジェクトを一覧表にまとめる。選抜は各分野の上位から一つずつ、予算が許す限り採択していく。

契約 (ERPA) 締結に向けた交渉

交渉ポイント：排出削減 (ER) 総量、ER 一単位当たりの価格、ER 獲得までのスケジュール、前払いの有無、追加的な ER の取扱

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。  
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

<p>主な質疑応答</p>	<p>Q：そのような手続きで、適切なプロジェクトを見極められるのか？ A：確かに、適切かどうかを見極めるのは難しいと思う。しかし、JI や CDM を通じて排出削減クレジットを得ることが重要である。</p> <p>Q：JI プロジェクトの契約相手は、付属書I 国となるだろうが、EU に限らないのか？ A：EU 外の国でもよい。</p> <p>Q：一覧表からの選抜方法は？ A：分野毎に上位から選抜していくことによって、様々な分野のプロジェクトから ER を獲得できる。</p> <p>Q：提出する提案書の準備にかかる費用はカバーされるのか？ A：条件が満たされれば、2 万€支払われる。</p> <p>Q：予想以上に多数のプロポーザルが来たらどうするのか？ A：第 1 段階で 25 件にまで絞るので、プロポーザルそのものがそれほど多くになることはないはずである。</p>
<p>資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パンフレット (A4 三つ折) 「Belgian JI/CDM Tender ~Now Open~」</li> <li>● ブックレット 「The Belgian JI/CDM Tender 2005: Call for Expression of Interest FOR JI PROJECTS」</li> <li>● ブックレット 「The Belgian JI/CDM Tender 2005: Call for Expression of Interest FOR CDM PROJECTS」</li> </ul>

文責：元田 智也 (財団法人地球環境センター)